



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイティブ株式会社
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	48,367	△16.0	△1,583	—	△1,465	—	△1,789	—
2020年3月期第3四半期	57,574	△1.0	1,207	152.0	1,420	116.9	1,051	150.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,780百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 1,050百万円 (148.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△36.27	—
2020年3月期第3四半期	21.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	32,826	10,302	31.3	208.59
2020年3月期	28,926	12,082	41.8	244.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,290百万円 2020年3月期 12,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,817	△5.3	355	△66.4	397	△74.0	417	—	8.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

今後、政府による緊急事態宣言や各自治体からの外出自粛要請の解除もしくは延長・拡大などの方針が決定され次第、速やかに検討した上で適切に開示してまいります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	49,414,578株	2020年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	82,048株	2020年3月期	82,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	49,332,530株	2020年3月期3Q	49,070,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ソフトウェア関連が堅調なことに加え、主に中国での需要回復に牽引されて自動車の輸出が秋口以降大幅に伸び、さらに通信分野では5G関連が本格的に立ち上がるなど、多くの業種で改善傾向が顕著になりました。しかしながら個人消費につきましては、一時後退していた新型コロナウイルス感染症への警戒感が11月下旬になって再燃し、「Go To キャンペーン」の見直しや飲食店の一層の時短営業の要請、雇用環境の悪化による節約志向の高まりなどもあって、年末にかけて急激に停滞しました。

外食産業におきましては、洋風ファストフード業態が持ち帰りや宅配需要を追い風に好調が続き、焼き肉業態も店舗内の換気が良いことが評価された上に「Go To キャンペーン」の恩恵もあって、概ね堅調に推移いたしました。しかしながら、居酒屋業態やファミリーレストラン業態などは新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や時短営業の影響を大きく受け、低迷が続きました。特に新型コロナウイルス禍の第3波が顕在化すると、酒類を提供する飲食店に対して営業時間を一層短縮する要請が東京都を皮切りに各地の自治体で出されたことに加え、年末の宴会需要が消滅したため、居酒屋業態を中心に非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤とし、店舗オペレーションの一層の強化と新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェック、マスク着用の実施、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス（社会的距離）確保などの感染予防対策を通じて既存顧客の満足度や安心感の向上と新規顧客の獲得に努めた一方、従業員の雇用維持に努めながら固定費削減など販管費の抑制を図り、店舗では状況の変化に応じた勤務スケジュールや食材の発注を行い、生産性の向上と商品廃棄ロスの削減に取り組んでまいりましたが、感染拡大を懸念する影響から不要不急の外出を自粛する傾向が続いたことにより売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は483億67百万円（前年同四半期比16.0%減）、営業損失は15億83百万円（前年同四半期は営業利益12億7百万円）、経常損失は14億65百万円（前年同四半期は経常利益14億200百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は17億89百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益10億51百万円）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、本来の旨み・甘みを堪能できる逸品「新物！うつつみ」や毎年大人気の瀬戸内海産の牡蠣2種類などを期間限定で提供する「秋のごち旨づくしフェア」の開催など、より希少性や限定感のある商品を提供してまいりました。

また、幅広い目的でかっぱ寿司を利用していただきたいという思いから多様化するお客様の嗜好にお応えすべくサイドメニューの強化として特に人気のある麺にフォーカスをあて、「麺や KAPPA」と銘打ったメディア先行試食会を開催し、イタリア料理「アルポルト」片岡シェフ監修の「かっぱ寿司の海鮮マヨすば」や本格ラーメンシリーズ第11弾「煮干しとんこつ醤油ラーメン」・「香味油の醤油ラーメン」を発表し、テイクアウト・デリバリーの充実拡大など様々な施策を行ってまいりました。加えて、コロナ禍におけるお客様並びに従業員の安心安全のために非接触対応システムとして、配膳・運搬ロボット「Servi」の実証実験を開始し、今後の導入拡大を検討してまいります。

決済方法の多様化・キャッシュレス化への対応の一環としてスマホ決済サービスとして新たに「J-Coin Pay」を全店舗にて導入し、国内のキャッシュレス化への対応とその需要に応え、今後も快適なお食事をしていただける環境整備に積極的に取り組んでまいります。

店舗オペレーションにおきましては、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に継続して取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして、全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェック、マスク着用の実施、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス（社会的距離）確保などの感染予防対策を徹底し、お客様が安心して食事を楽しめる環境を提供してまいりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は390億85百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニやスーパーストアを中心とした既存顧客に対する寿司弁当・調理パン等の商品の拡充や新製品の提案、新規取引先の開拓など販売強化に取り組むと共に各拠点間での生産移管等を通じて生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は94億32百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は328億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が26億90百万円増加、売掛金が12億24百万円増加、工具、器具及び備品が7億56百万円増加、リース資産が1億12百万円減少、敷金及び保証金が4億63百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における総負債は225億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億80百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が40億円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が10億円増加、社債及び1年内償還予定の社債が2億55百万円増加、未払金及び長期未払金が7億94百万円増加、未払法人税等が3億77百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は103億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億80百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失17億89百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年1月8日に政府より発令された緊急事態宣言による業績に対する影響を精査中であり、今後、変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,941	8,632
売掛金	2,512	3,737
商品及び製品	347	474
原材料及び貯蔵品	287	464
その他	939	959
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,028	14,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,426	27,397
機械装置及び運搬具	5,153	5,278
工具、器具及び備品	6,036	6,793
土地	2,355	2,355
リース資産	1,754	1,641
建設仮勘定	124	39
減価償却累計額	△30,300	△30,704
有形固定資産合計	12,551	12,802
無形固定資産	358	307
投資その他の資産		
投資有価証券	849	851
敷金及び保証金	4,817	4,354
繰延税金資産	36	36
その他	213	146
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	5,907	5,378
固定資産合計	18,816	18,488
繰延資産		
社債発行費	81	70
繰延資産合計	81	70
資産合計	28,926	32,826

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,802	3,376
短期借入金	—	4,000
1年内返済予定の長期借入金	—	180
1年内償還予定の社債	1,490	1,690
未払金	1,944	2,491
未払費用	1,513	1,581
リース債務	164	121
未払法人税等	438	60
賞与引当金	232	51
株主優待引当金	118	274
店舗閉鎖損失引当金	258	2
その他	1,153	887
流動負債合計	10,116	14,717
固定負債		
社債	3,005	3,060
長期借入金	—	820
長期未払金	1,970	2,217
リース債務	194	105
資産除去債務	1,404	1,467
繰延税金負債	0	0
その他	151	136
固定負債合計	6,727	7,807
負債合計	16,844	22,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,527	2,527
利益剰余金	△167	△1,956
自己株式	△77	△77
株主資本合計	12,082	10,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	△4	△2
非支配株主持分	4	11
純資産合計	12,082	10,302
負債純資産合計	28,926	32,826

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	57,574	48,367
売上原価	27,405	23,431
売上総利益	30,169	24,936
販売費及び一般管理費	28,961	26,519
営業利益又は営業損失（△）	1,207	△1,583
営業外収益		
受取利息	34	32
受取配当金	85	55
受取家賃	184	174
自動販売機収入	36	26
協賛金収入	93	17
雑収入	33	111
営業外収益合計	468	417
営業外費用		
支払利息	26	42
社債利息	24	26
賃貸収入原価	163	155
雑損失	41	75
営業外費用合計	255	299
経常利益又は経常損失（△）	1,420	△1,465
特別利益		
固定資産売却益	2	0
新株予約権戻入益	14	—
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除却損	101	24
減損損失	—	121
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18	2
臨時休業等による損失	—	12
特別損失合計	120	161
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,317	△1,626
法人税、住民税及び事業税	266	155
法人税等合計	266	155
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,051	△1,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,051	△1,789

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,051	△1,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	1
その他の包括利益合計	△1	1
四半期包括利益	1,050	△1,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050	△1,787
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。